

第141回 日商簿記検定試験 2級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問

- 配当金の受取は、受取配当金として処理するが、入金額が源泉所得税（20%）控除後の金額であるため、入金額と配当金の額との差額を仮払法人税等（法人税等の中間納付）として処理する。
配当金の額：240,000円 ÷ (1-20%) = 300,000円
仮払法人税等：300,000円（配当金の額） - 240,000円（入金額）
- 増設工事に関する支払額は、建設仮勘定として処理されている。その工事が完成した時に、建設仮勘定から適切な固定資産の勘定に振り替えることになる。また、共通工事費の額は、問題の指示により、各勘定に金額の比により配分する。
(1) 建物：800,000円 × 5,000,000円 / (5,000,000円 + 2,000,000円 + 1,000,000円) = 500,000円
(2) 構築物：800,000円 × 2,000,000円 / (5,000,000円 + 2,000,000円 + 1,000,000円) = 200,000円
(3) 修繕費：800,000円 × 1,000,000円 / (5,000,000円 + 2,000,000円 + 1,000,000円) = 100,000円
- 仕入割戻は、買掛金の残高がある場合には相殺する。本問のように、当初未収金を計上しており、その後支払時に買掛金の残高がある場合には、相殺した残額の支払いを行うため、解答のようになる。
- 研究開発専用で購入した備品は、研究開発活動のみに使用されるため、取得時に研究開発費として処理する。なお、支払が翌月であるため、商品は主たる営業活動により生じた債務であるため買掛金で処理し、備品は主たる営業活動以外の債務であるため未払金で処理する。また、消費税の会計処理について、税抜方式を採用しているため、消費税（8%）については仮払消費税として処理する。
- 前期以前に販売した商品について、商品保証引当金を設定しているため、前期以前販売の商品について、保証が行われた場合には、当該商品保証引当金を補てんする。なお、商品保証引当金を超過する商品保障費については、当期の商品保証費として処理する。

第2問

問1 売買目的有価証券勘定および有価証券利息勘定の勘定記入

1. 期中仕訳

(1) 平成26年5月1日

(借) 売買目的有価証券	98,600,000	(貸) 未払金	98,720,000
(〃) 有価証券利息	120,000		

(注1) 売買目的有価証券：¥100,000,000（額面総額） × ¥98.60/¥100（取得原価割合） = ¥98,600,000

(注2) 未払金：¥98,600,000（取得原価） + ¥120,000（経過利息） = ¥98,720,000

(2) 平成26年6月30日

(借) 普通預金	180,000	(貸) 有価証券利息	180,000
----------	---------	------------	---------

(注) ¥100,000,000（額面総額） × 0.36%（年利率） × 6ヶ月（平成26年1月1日～平成26年6月30日） / 12ヶ月 = ¥180,000

(3) 平成26年10月31日

(借) 未収金	29,286,000	(貸) 売買目的有価証券	29,580,000
(〃) 有価証券売却損	330,000	(〃) 有価証券利息	36,000

(注1) 売買目的有価証券：¥30,000,000（売却額面総額） × ¥98.60/¥100（取得原価割合） = ¥29,580,000

(注2) 未収金：¥30,000,000（売却額面総額） × ¥97.50/¥100（売却金額割合） + ¥36,000（経過利息） = ¥29,286,000

(注3) 有価証券売却損：¥29,580,000（売却原価、上記(注1)） - ¥30,000,000（売却額面総額） × ¥97.50/¥100（売却金額割合） = ¥330,000

(4) 平成26年12月31日

(借) 普通預金	126,000	(貸) 有価証券利息	126,000
----------	---------	------------	---------

(注) {¥100,000,000（額面総額） - ¥30,000,000（平成26年10月31日売却額面総額、上記(3)）} × 0.36%（年利率） × 6ヶ月（平成26年7月1日～平成26年12月31日） / 12ヶ月 = ¥126,000

(5) 平成27年1月30日

(借) 未収金	39,292,000	(貸) 売買目的有価証券	39,440,000
(〃) 有価証券売却損	160,000	(〃) 有価証券利息	12,000

(注1) 売買目的有価証券：¥40,000,000（売却額面総額） × ¥98.60/¥100（取得原価割合） = ¥39,440,000

(注2) 未収金：¥40,000,000（売却額面総額） × ¥98.20/¥100（売却金額割合） + ¥12,000（経過利息） = ¥39,292,000

(注3) 有価証券売却損：¥39,440,000（売却原価、上記(注1)） - ¥40,000,000（売却額面総額） × ¥98.20/¥100（売却金額割合） = ¥160,000

2. 決算整理仕訳

(1) 平成27年3月31日

① 時価評価

(借) 売買目的有価証券	60,000	(貸) 有価証券評価益	60,000
--------------	--------	-------------	--------

(注) {¥100,000,000（額面総額） - ¥30,000,000（平成26年10月31日売却額面総額、上記1.(3)） - ¥40,000,000（平成27年1月30日売却額面総額、上記1.(5)）} × {¥98.80（時価） - ¥98.60（取得原価）} / ¥100 = ¥60,000

② 有価証券利息の見越計上

(借) 未収有価証券利息	27,000	(貸) 有価証券利息	27,000
--------------	--------	------------	--------

(注) {¥100,000,000（額面総額） - ¥30,000,000（平成26年10月31日売却額面総額、上記1.(3)） - ¥40,000,000（平成27年1月30日売却額面総額、上記1.(5)）} × 0.36%（年利率） × 3ヶ月（平成27年1月1日～平成27年3月31日） / 12ヶ月 = ¥27,000

3. 決算振替仕訳（売買目的有価証券及び有価証券利息のみ）

(1) 平成27年3月31日

① 売買目的有価証券

英米式決算のため、帳簿上で次期繰越を記入する。

※ 次期繰越額：¥98,600,000（購入・平成26年5月1日、上記1.(1)） - ¥29,580,000（売却・平成26年10月31日、上記1.(3)） - ¥39,440,000（売却・平成27年1月30日、上記1.(5)） + ¥60,000（評価・平成27年3月31日、上記2.(1)①） = ¥29,640,000

② 有価証券利息

(借) 有価証券利息	261,000	(貸) 損益	261,000
------------	---------	--------	---------

(注) △¥120,000（平成26年5月1日、上記1.(1)） + ¥180,000（平成26年6月30日、上記1.(2)） + ¥36,000（平成26年10月31日、上記1.(3)） + ¥126,000（平成26年12月31日、上記1.(4)） + ¥12,000（平成27年1月30日、上記1.(5)） + ¥27,000（平成27年3月31日、上記2.(1)②） = ¥261,000

問2 当期の有価証券売却損益

¥330,000（平成26年10月31日、上記1.(3)） + ¥160,000（平成27年1月30日、上記1.(5)） = ¥490,000

問3 満期保有目的債券

1. 期中仕訳

(1) 平成26年5月1日

(借) 満期保有目的債券	98,600,000	(貸) 未払金	98,720,000
(〃) 有価証券利息	120,000		

(注1) 満期保有目的の債券: $\text{¥}100,000,000$ (額面総額) \times $\text{¥}98.60/\text{¥}100$ (取得原価割合) = $\text{¥}98,600,000$

(注2) 未払金: $\text{¥}98,600,000$ (取得原価) + $\text{¥}120,000$ (経過利息) = $\text{¥}98,720,000$

(2) 平成26年6月30日

(借) 普通預金	180,000	(貸) 有価証券利息	180,000
----------	---------	------------	---------

(注) $\text{¥}100,000,000$ (額面総額) \times 0.36% (年利率) \times 6ヶ月 (平成26年1月1日～平成26年6月30日) / 12ヶ月 = $\text{¥}180,000$

(3) 平成26年12月31日

(借) 普通預金	180,000	(貸) 有価証券利息	180,000
----------	---------	------------	---------

(注) $\text{¥}100,000,000$ (額面総額) \times 0.36% (年利率) \times 6ヶ月 (平成26年7月1日～平成26年12月31日) / 12ヶ月 = $\text{¥}180,000$

2. 決算整理仕訳

(1) 平成27年3月31日

① 時価評価

満期保有目的債券は、時価評価を行わない。

② 償却原価法の適用

(借) 満期保有目的債券	275,000	(貸) 有価証券利息	275,000
--------------	---------	------------	---------

(注) $\{ \text{¥}100,000,000$ (額面総額) $- \text{¥}100,000,000$ (額面総額) \times $\text{¥}98.60/\text{¥}100$ (取得原価割合) $\} \times$ 11か月 (平成26年5月1日～平成27年3月31日) / 56か月 (平成26年5月1日～平成30年12月31日) = $\text{¥}275,000$

③ 有価証券利息の見越計上

(借) 未収有価証券利息	90,000	(貸) 有価証券利息	90,000
--------------	--------	------------	--------

(注) $\text{¥}100,000,000$ (額面総額) \times 0.36% (年利率) \times 3ヶ月 (平成27年1月1日～平成27年3月31日) / 12ヶ月 = $\text{¥}90,000$

3. 解答の金額

(1) 当期末時点での満期保有目的債券勘定の次期繰越額

$\text{¥}98,600,000$ (平成26年5月1日、上記1.(1)) + $\text{¥}275,000$ (平成26年3月31日、上記2.(1)②) = $\text{¥}98,875,000$

(2) 有価証券利息の当期発生額

$\Delta \text{¥}120,000$ (平成26年5月1日、上記1.(1)) + $\text{¥}180,000$ (平成26年6月30日、上記1.(2)) + $\text{¥}180,000$ (平成26年12月31日、上記1.(3)) + $\text{¥}275,000$ (平成27年3月31日、上記2.(1)②) + $\text{¥}90,000$ (平成27年3月31日、上記2.(1)③) = $\text{¥}605,000$

第3問 精算表の作成

1. 手形取立未処理

(借) 当座預金	20,000	(貸) 受取手形	20,000
----------	--------	----------	--------

2. 売掛金貸倒未処理

前期発生債権が貸倒れた場合には、前期末に貸倒引当金を設定しているため、貸倒引当金を補てんする。当期発生債権が貸倒れた場合には、当期の損失として貸倒損失を計上する。

(借) 貸倒引当金	7,000	(貸) 売掛金	9,000
(〃) 貸倒損失	2,000		

3. 貸倒引当金の設定

当期末の売上債権に対し、次期に貸倒れの可能性がある部分について、貸倒引当金を計上する。なお、上記1.及び2.によって受取手形と売掛金に変動が生じていることに留意すること。

(借) 貸倒引当金繰入	1,420	(貸) 貸倒引当金	1,420
-------------	-------	-----------	-------

(注) $\{ \text{¥}80,000$ (残高試算表受取手形) $- \text{¥}20,000$ (手形取立未処理) + $\text{¥}130,000$ (残高試算表売掛金) $- \text{¥}9,000$ (貸倒未処理、上記2.) $\} \times 2\% - \{ \text{¥}9,200$ (残高試算表貸倒引当金) $- \text{¥}7,000$ (貸倒未処理、上記2.) $\} = \text{¥}1,420$

4. 売上原価の算定

(借) 仕入	41,000	(貸) 繰越商品	41,000
(借) 繰越商品	39,600	(貸) 仕入	39,600
(借) 棚卸減耗損	480	(貸) 繰越商品	480
(借) 商品評価損	978	(貸) 繰越商品	978

(注1) 繰越商品 (前期末): $\text{¥}41,000$ (残高試算表繰越商品)

(注2) 繰越商品 (当期末): 330 個 (帳簿数量) \times $\text{¥}120$ (原価) = $\text{¥}39,600$

(注3) 棚卸減耗損: $\{ 330$ 個 (帳簿数量) $- 326$ 個 (実地数量) $\} \times \text{¥}120$ (原価) = $\text{¥}480$

(注4) 商品評価損: 326 個 (実地数量) \times $\{ \text{¥}120$ (原価) $- \text{¥}117$ (正味売却価額) $\} = \text{¥}978$

5. 消耗品の整理

消耗品は、購入時に資産計上し、使用分を決算において費用計上する処理方法と、購入時に費用計上し、未使用分を決算において資産計上する処理方法の二つがある。本問の場合、残高試算表に消耗品があることから、前者を採用していることが分かるため、使用分を費用計上する必要がある。

(借) 消耗品費	9,000	(貸) 消耗品	9,000
----------	-------	---------	-------

(注) $\text{¥}15,000$ (残高試算表消耗品) $- \text{¥}6,000$ (消耗品の未使用高) = $\text{¥}9,000$

6. 消費税の未払高の確定

消費税については、消費者が負担すべきものであるため、預かった消費税と支払った消費税を相殺した純額により、国に納付すべき消費税額を確定させる。よって、預かった消費税を示す仮受消費税と支払った消費税を示す仮払消費税を相殺し、納付額である未払消費税を計上する。

(借) 仮受消費税	169,600	(貸) 仮払消費税	165,200
		(〃) 未払消費税	4,400

(注1) 仮受消費税: $\text{¥}169,600$ (残高試算表仮受消費税)

(注2) 仮払消費税: $\text{¥}165,200$ (残高試算表仮払消費税)

(注3) 未払消費税 $\text{¥}169,600$ (残高試算表仮受消費税) $- \text{¥}165,200$ (残高試算表仮払消費税) = $\text{¥}4,400$

7. 減価償却

(1) 建物

残高試算表の建物の中に、期中に取得したものが含まれているため、問題の指示より月割により減価償却費の計算を行う。

(借) 減 価 償 却 費	82,500	(貸) 建物減価償却累計額	82,500
---------------	--------	---------------	--------

(注) $\{¥3,000,000$ (残高試算表建物) $- ¥900,000$ (期中取得建物) $\} \div 30$ 年 (耐用年数) $+ ¥900,000$ (期中取得建物) $\div 30$ 年 $\times 5$ か月 (平成26年11月1日～平成27年3月31日) $\div 12$ か月 $= ¥82,500$

(2) 備品

(借) 減 価 償 却 費	51,200	(貸) 備品減価償却累計額	51,200
---------------	--------	---------------	--------

(注) $\{¥400,000$ (残高試算表備品) $- ¥144,000$ (残高試算表備品減価償却累計額) $\} \times 20\%$ (償却率) $= ¥51,200$

(3) 解答の金額 (減価償却費)

$¥82,500$ (建物減価償却費、上記(1)) $+ ¥51,200$ (備品減価償却費、上記(2)) $= ¥133,700$

8. のれんの償却

のれんは無形固定資産であるため、残高試算表ののれんは、未償却残高を示している。よって、期間配分を計算する場合には、10年 (償却期間) ではなく、残存償却期間により計算を行う。

(借) の れ ん 償 却	24,000	(貸) の れ ん	24,000
---------------	--------	-----------	--------

(注) $¥144,000$ (残高試算表のれん) $\times 12$ か月 $\div 72$ か月 (平成26年4月1日～平成32年3月31日) $= ¥24,000$

9. 借入金に係る支払利息の見越計上

(借) 支 払 利 息	1,800	(貸) 未 払 利 息	1,800
-------------	-------	-------------	-------

(注) $¥300,000 \times 1.8\%$ (年利率) $\times 4$ か月 (平成26年12月1日～平成27年3月31日) $\div 12$ か月 $= ¥1,800$

10. 退職給付

(借) 退 職 給 付 費 用	35,000	(貸) 退 職 給 付 引 当 金	35,000
-----------------	--------	-------------------	--------

11. 支払保険料の繰延計上

(借) 前 払 保 険 料	2,460	(貸) 支 払 保 険 料	2,460
---------------	-------	---------------	-------

(注) $¥4,920$ (残高試算表支払保険料) $\times 6$ か月 (平成27年4月1日～平成27年9月30日) $\div 12$ か月 $= ¥2,460$